

教育相談

—第2回—

心理アセスメント

心理検査で己を知る

新島学園短期大学 櫻本和也

★前回の振り返り★

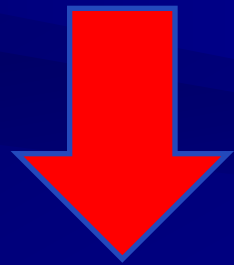
- 教育相談の授業概要を把握した
- 教育相談の定義・目的をもとにして、チームで連携する必要性を確認した

☆今回のポイント・到達目標！☆

- パーソナリティ理論を体系的に理解し、
複雑で多様なパーソナリティを説明
することができる
- 心理アセスメント技本を実際に体験し、
自分自身の理解を深める機会を持つ

多様なパーソナリティ

- パーソナリティ理論の進歩や発展に伴い、正確にパーソナリティを測定するものが必要



personality

- 非常に多くのパーソナリティ測定法や検査法が開発

検査法や測定法

■ これらを大きく分類すると、主に...



① 質問紙法

② 作業検査法

③ 投影法

交流分析

- 精神科医エリック・バーンが提唱した理論
- 自分の自我状態を知る
- 特に対人関係の特性を見る

エゴグラム

- 交流分析における自我状態を調べるテスト
- 50問の質問からなる
- 心の中の5つの自我状態に気づくためのもの

結果の整理

- ○は2点, △は1点, ×は0点
で計算しましょう
- 各項目ごと(CP、NP、A、FC、AC)
に点数を合計しましょう
- 図2－2の棒グラフを作成

5つの自我状態

①批判的な親の部分＝CP (Critical Parentの略)

自己主張，価値観，理想，正義感，
規則，支配的，命令的，攻撃的，
など

②養育的な親の部分＝NP (**N**urturing **P**arentの略)

思いやり, 同情, 寛容, 励まし, 親切,
おせっかい, 干渉 など

③大人の部分=A (Adultの略)

成熟した大人の人格という意味ではなく、
客観的，合理的，論理的，冷静，
分析的，クールなど

④自由な子どもの部分=FC (Free Childの略)

しつけ・教育の影響は最小限,
本能的, 感覚的, 直感的,
ありのまま, 無邪気,
自己中心的, わがまま, など

⑤順応した子ども=AC

(Adapted Childの略)

「いい子」の部分, 抑圧的,
我慢, 期待にそう, 受動的,
評判が気になる, ニコニコ,
イヤと言えない, など

振り返ってみよう

- 対人関係の特徴について、自らの自我状態から新発見はあったか？
- 結果を受けて自分自身に対する捉え方にどのような影響が生じたか？

まとめ

- 高い項目を低くするよりも、
低い項目を高くする方が有効
- どんな自分になりたいのかを
普段から意識して行動！！

自分との付き合いは一生続く

■未知なるものとの共存のため、
「自分自身」の一番の理解者に
「自ら」になる！！

☆本日の振り返り☆

- 心理検査を実際に体験し、自分自身の理解を深める機会を持つ
- 結果の特性を理解し、日常生活に活かして初めて意味がある